

はりまいのちの電話公開講座

開場 13:30

開演 14:00～16:00

会場 姫路市総合福祉会館  
5階 第1・第2会議室  
姫路市安田3丁目1(姫路市役所西側)

駐車場 / 姫路市総合福祉会館西側駐車場が満車の場合は  
姫路市役所駐車場をご利用下さい(入庫14時まで)

人数 150名 申し込み先着順

お申し込みは  
こちら →



お問い合わせ

〒670-0012 姫路市本町68 (月～金 13:30～18:00/土・日・祝除く)  
社会福祉法人はりまいのちの電話 事務局  
TEL: 079-288-5099 FAX: 079-263-7210  
e-mail: jimukyoku@harima-inochi.jp

今私たちにできること

子どもたちの笑顔を守るために

# 子どももまんなが社会をめぐらせて

2025年  
(令和7年)

11月6日  
(木)

入場無料

対談形式

久保田 智子 氏  
(姫路市教育長)



アナウンサーとして「どうぶつ奇想天外!」「筑紫哲也 NEWS23」「報道特集」などに出演し、その後に報道局兼務となり、ニューヨーク特派員や政治部記者などを担当してきました。2019年に特別養子縁組で新生児を家族に迎え、1児の母になったことをきっかけに、子ども家庭福祉の分野での取材、発信を始め、もっと直接子どもの環境改善に関わりたいとの思いから、2024年姫路市教育長に就任しました。現在は、「子どもまんなか」の学校園づくりに注力しています。

島田 妙子 氏  
(関西大学客員教授)



1972年神戸市北区生まれ。1男2女の母。4歳の頃、両親の離婚で兄二人と児童養護施設に入所。7歳の時、父の再婚で家庭に復帰しましたが継母と実父による壮絶な虐待が始まり、何度も命を落としかけました。2010年末、心の支えであった次兄が白血病で他界。これを転機に兄の思いを引き継ぎ、本当の意味での「児童虐待の予防」にむけての自叙伝を執筆するとともに「大人の心を助ける」講演活動を積極的に行っています。

古谷 園子 氏  
(はりまいのちの電話事務局長)

主催：社会福祉法人  
はりまいのちの電話

共催：姫路市  
後援：兵庫県

姫路市教育委員会  
姫路市社会福祉協議会  
姫路市医師会

認定特定非営利活動法人コムサロン21

もしもし……



はい、  
いのちの電話  
です

私にできること  
あなたにも  
できることは  
顔も名前も知らない  
電話の向こうの  
誰かのために  
ここに寄り添って  
話を聞くことです。

## はりまいのちの電話とは

はりまいのちの電話は1988年に開局し、様々な悩みや心の危機に直面しながらも身近に相談できる相手もなく、孤独の中にいる人たちの相談を365日受け続けています。また阪神淡路大震災や東日本大震災の際には、フリーダイヤル・震災ダイヤルに参画し突然の喪失体験による抱えきれない悲しみを持つ人たちのここに寄り添ってきました。相談員の活動は無給ボランティアで電話相談だけでなく組織の運営にも関わっています。相談員は養成講座を受講し認定された後も定期的な研修を重ね聞き手としての感性を磨き続けています。電話の向こうの人とつながる活動を通じて、あなたの足あとをはりまいのちの電話に残しませんか？

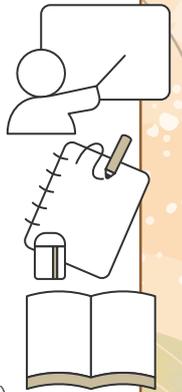
あなたも相談員になりませんか  
まずはお問い合わせください

### 養成講座【基礎コース前期】2026年4月スタート

2026年4月～8月のカリキュラムは

- ① 開会式・オリエンテーション  
いのちの電話の理念ボランティア  
- 共に生きる -
- ② 悲嘆について
- ③ 生き辛さを抱えた方々の理解と  
具体的な聴き方について
- ④ カウンセリング①
- ⑤ 精神疾患について・発達障害について・  
依存症について
- ⑥ 性の多様性ってLGBTQの人たちだけに  
関係あること？
- ⑦ 認知症と介護・福祉サービスについて
- ⑧ 青少年の自殺について
- ⑨ 悩みの聴き方
- ⑩ DVと子どもへの影響
- ⑪ ひきこもりなど現在の心の病について
- ⑫ カウンセリング②

(※内容変更の可能性あり)



### 新相談員の 今の思い

電話という手立てを通して、相談者さんの正直な気持ちとその存在の量感が沁みています。一期一会ですが相談者さんの『今』に心を寄せて、一緒に揺れていたいと願っています。そして『私』との出会い直しができたらなあ。(Aさん)



養成講座を受講して多くの知識を得ました。今は相談員として相談者さんの人生模様必死になって寄り添っています。そして自分の死生観が少しづつ変化しているように思える日々です。この出会いに感謝です。(Cさん)



電話相談員認定を受けてから、家族や知人の言葉に耳を傾ける気持ちが強くなった気がします。相談者さんに寄り添うことでいつかは満足のいく傾聴ができますようにと願っています。(Bさん)

